

笠間市社会福祉協議会

北川根支部だより

第 1 4 2 号



発行日 令和 2 年 9 月 3 0 日
 発行 笠間市社協北川根支部
 編集 北川根支部広報委員会
 印刷 (有)シーエス

高齢夫婦無職世帯の家計収支(2017年平均)月間

実収入	209,198円	不足分
		↓
		54,520円
		*12カ月×30年間(65～95歳として)
		≒2,000万円
実支出	263,718円	

総務省：2017年家計調査報告

「老後2000万円問題」
 旧聞になりますが、昨年「老後2000万円問題」が大きな話題になりましたので、おさらいしまとめてみました。
 この2000万円の話は、総務省の2017年家計調査年報の中の「高齢夫婦無職世帯の家計収支」に端を発したもので、夫65歳、妻60歳の無職世帯における1カ月の実収入平均が20万9198円(内92%が公的年金)、対する支出平均が26万4520円、毎月平均5万4520円

副支部長 水田 諭

老後2000万円問題について

- の不足が生じ、30年生きると想定すると約2000万円が不足する、というものです。
 この不足額の補填策として次の4点が考えられます。
1. 金融資産を取り崩して補う
 しかし、私たちすべてに取り崩せる十分な金融資産があるとは限りません。
 2. 仕事を継続し収入を確保する。
 希望する人が70歳まで働けるよう企業が就業機会を確保する努力義務を課した「70歳就業法」が、本年3月に成立しました。これに呼応して早速全社員を対象に80歳まで働ける制度を導入した企業(家電量販店大手のノジマ)も現れました。今後労働力不足対策もあり定年の再延長または再雇用制度の拡充を導入する企業が増え、高齢者の雇用機会が増加すると期待されます。
 3. 1と2の併用
 これがもつとも現実的な対応策と思われる。
 4. 金融リテラシーの向上
 「貯蓄から投資へ」の流れに乗

り、金融資産を増やすことも有力な選択肢です。そのために金融リテラシー(金融に関する知識や情報を正しく理解し、自身で判断することができ、能力)を向上させることが重要ですが、以前からわが国は欧米諸国と比較して低い水準にあると指摘されています。資産形成のための金融リテラシー教育や生涯教育にも注力することが求められます。

人生100年時代の到来

最近「人生100年時代」という言葉が頻繁に語られるようになりました。誰でも100歳を超えて生きることが高まる時代が来るということです。近年AI(人工知能)やICT(情報通信技術)の技術進展が目覚ましく、私たちの健康寿命を大幅に伸ばす可能性を高めているからです。これには私たちのライフプランにおける前提が大きく変わるかもしれないという大きな問題を含んでいます。そうなれば、2000万円では十分とはいえなくなり、命の寿命が尽きる前に、資産の寿命が尽きてしまうかもしれないという深刻な問題をはらんでいます。若いときの備えや生涯教育、高齢者雇用の促進などが極めて重要になると考えられます。



月 2 回の立哨当番で児童と交流

～足と自転車でお宅訪問～

民生委員・児童委員 打越 安洋

私が民生委員・児童委員になったのは、他市で行政を担っていて、退職を迎える時に話があり、事務系の仕事は経験した事が無く、また、笠間市は、生まれ育った故郷でありましたが、長年不在状態であった為、民生委員・児童委員になって良いのか心配でしたが、誘いに負けてお受けいたしました。

民生委員としては、生まれ育った地域以外はよく分からず、ほとんど顔見知りの人もいませんでした。訪問活動が始まり二年間ぐらいいは、市役所から配布された写真入りの名刺を提示しても、不審な表情をされます。子供時代から住んでいれば、お互いに顔も声も知っていても、両者とも知らないわけですから無理ありません。



長兎路地区から常磐自動車道を望む

まず、地域を知り顔と声を覚えてもらうために、できるだけ足・自転車を使って訪問活動などをしました。現在四年目になり心がけていることは、小さな力ですが、地域の為に、「手」・「あし」・「目」・「耳」になればと思います。相談があったときは、内容・要望を聴き、メモにまとめ、速やかに、市担当福祉課、社会福祉協議会などに連絡相談「つなぎ」をし、遅くとも翌月までには結果を伝えるようにしています。相談した方に早くい話が返せるように心がけています。

児童委員としては、北川根社協と

北川根小学区民生委員・児童委員 [担 当 区 域]

横木 守	旭丘団地、住吉団地、みどり野団地
布施谷智恵美	旭団地、西協、長野、RG風の杜、グリーンウッド
光又 宏子	睦団地、西原、西原住宅班、コンフォートタウン西原
打越 安洋	石沢、長兎路全区
鈴木 倫孝	住吉本宿、白百合区
上野 憲一	住吉新宿、湯崎、田向
枝川 良雄	随分附本郷、随分附新田、東原
箱田 素子	柏井、柏井団地、旭丘、仁古田全区、南丘団地

新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記行事を中止します

- ①北川根支部研修交流会(2021年1月予定)
- ②女性部研修(2020年8月予定)
- ③合同茶話会(2020年11月予定)
- ④北川根ウォーク(2020年10月予定)

よる懇談会で、ある先輩が「民生委員の仕事は自分の為になつた」と話された意図が分かり始めたこのごろです。今後足と自転車を使って健康づくり、そして、生まれ育ったふるさととの「地域づくり」にも貢献できればと思っています。



素晴らしい学校への第一歩

生徒会・中央委員会「ハロープロジェクト」

友部第二中学校、生徒会長の赤津万葉です。友部二中では、生徒会・中央委員会が中心となって「ハロープロジェクト」を行っています。友部二中は、あいさつを大切にしている学校なので、全員があいさつをできる学校にするために、この活動を始めました。

主な活動内容は、良いあいさつができた人に、生徒会や中央委員会がメダルを渡したり、生徒会が

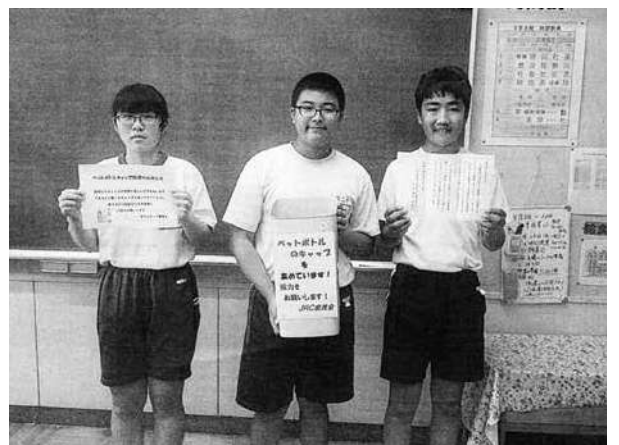


また、地域の方々へのあいさつも頑張っています。地域の方々から、友部二中のあいさつについて、お褒めの言葉をいただくこともあります。この友部第二中学校を素晴らしい学校にするために、一人一人が意識してあいさつをすることが大切です。そのための第一歩としての「ハロープロジェクト」をこれからも続けて、学校全体のあいさつに対する意識を高めていきたいと思います。

ボランティア委員会

僕たちボランティア委員会は、さぼーと委員会とJRC委員会の合併により誕生しました。主にペットボトルキャップの回収を常時活動として行っています。回収したキャップは七月に社会福祉協議会に寄付をしてきました。集まったペットボトルキャップは発展途上国の子供たちにワクチンを送ることに役立っています。これからもご協力よろしく願います。

また、今年度は七月に緑の羽根募



金を行い、学校緑化の推進への協力を呼びかけました。新型コロナウイルス感染症の影響で募金を呼びかける期間が短くなつてしまいましたが、委員一同、声掛けを頑張りました。

友部第二中学校の花壇はとてもきれいに整備されています。これからも学校緑化の推進を呼びかけ、花いっぱい为学校にしていきたいと思っています。

これから秋にかけて学校をさらにきれいにするために落ち葉はきをすることを予定しています。みんなが気持ちよく生活できるようボランティア精神をもって活動をしていきたいと思います。

わが地域 ⑮

五万堀古道
長兎路・仁古田・柏井

五万堀古道 北方向全景

「石塚街道」(県道52号線・石岡城里線)や常磐自動車道とほぼ同じ方向に、奈良時代に整備された「五万堀古道」(古東海道・常陸国府・石岡・陸奥国)が通っていました。当地域での発見は、昭和45年から47年にかけて実施された圃場整備の際、地下30〜50cm下に敷き詰められた柴などの路床でした。湿地帯を渡すために工夫された構造であったとされます。

掘調査が行われ、8世紀前半頃からの道跡が確認された。両側にU字形の溝(雨水排水溝)のある幅10mの直線の古代官道で、後世にも使われた大道であったと実証された。また、北東方向の延長線上に「河内駅家」が推定され、対岸に「台渡里官衙遺跡群」などの存在が知られている。駅路には30里(16km)毎に駅家が設けられ、対岸の安居地内の「安俣駅家」推定地の調査(東平遺跡平成11〜12年)で、駅家に付属する軍団等の存在を推定させる「騎兵長」と記された墨書土器や弓矢の鉄鏃(やじり)、土を突き固めた土台を持つ大規模な礎石建物跡(穀倉)、掘立柱建物2棟などの遺構が確認された。



五万堀古道 南方向全景

長兎路・仁古田境には、「五万堀」という字名があり、伝承で八幡太郎源義家が平安時代末の「後三年の役」で五万の大軍を率いて通過したことから名付けられたと云う。沿線では、羽鳥駅東にも「五万堀」の地名が残る。奈良時代の律令国家を維持するために整備された官道は、6300kmにも及ぶとされており、現在の高速自動車道路の延長8900kmと比較すると驚異的な数値である。ある推計によると当時の人口は、450万人と云う。どのような人々が、どのようなにしてこの道をつくり、利用したのであろうか。(枝川 良雄)

配食中止について



新型コロナウイルスの感染拡大により3月より配食を中止し、対象者の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。再開の見通しがたち次第すぐお知らせしたいと思います。その間も三密を避け、十分な手洗いとマスクの着用をして感染防止につとめていただきます。配食活動に代るものとして、先日一人ぐらしの皆様にはお手紙と手作りマスク、そして小さなものですが手指の消毒剤を通して、生委員さんを通してお配り致しました。毎日の生活にお役に立てていたと思います。一日も早い収束を願ってやみません。(上野 昌子)



新型コロナウイルスの収束がなかなか見えない。社協の行事も中止が相次いでいる。7月には、熊本県を中心に豪雨が何度も襲い、台風も。コロナの影響でボランティアも制限され、復興活動も遅れがち。やりきれない。(藤森)

編集後記

新型コロナウイルスの収束がなかなか見えない。社協の行事も中止が相次いでいる。7月には、熊本県を中心に豪雨が何度も襲い、台風も。コロナの影響でボランティアも制限され、復興活動も遅れがち。やりきれない。(藤森)